

## 議決権行使レポート

証券コード 6055

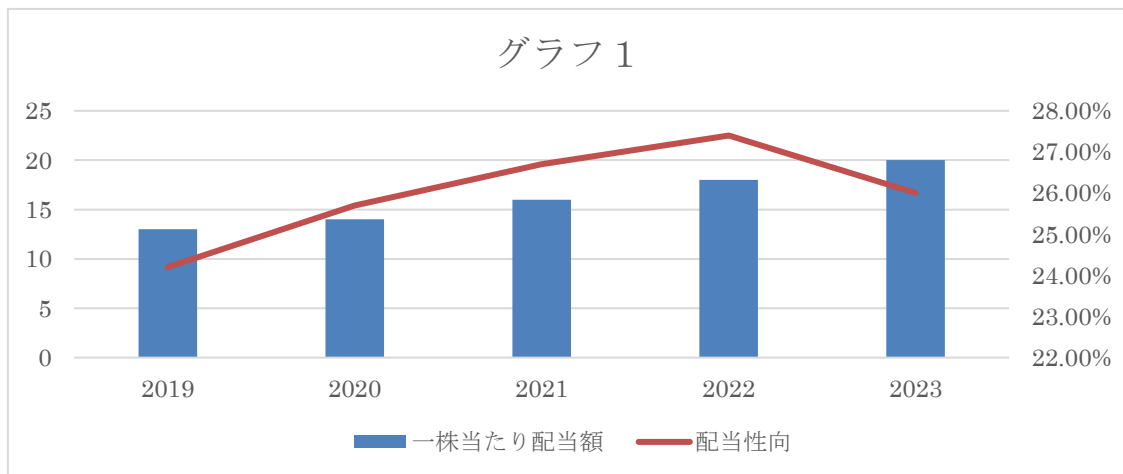
会社名 ジャパンマテリアル

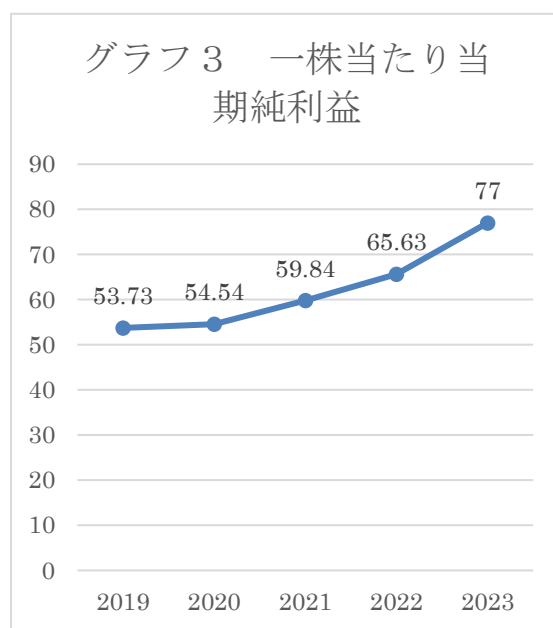
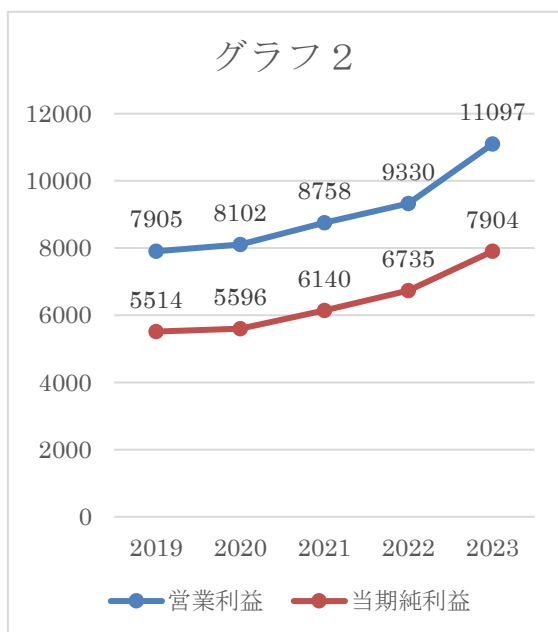
	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役10名選任の件			
田中 久男 氏	○		
甲斐 哲郎 氏	○		
田中 宏典 氏	○		
長谷 圭祐 氏	○		
坂口 好則 氏	○		
矢内 信晴 氏	○		
田中 智和 氏	○		
大島 次郎 氏	○		
杉山 健一 氏	○		
沼沢 禎寛 氏	○		

### 各推奨理由

#### 第一号議案について

企業には今後の事業展開や、財務体質の動きなどを考慮すると、基本的には剰余金の処分については取締役会の判断に任せることが最も建設的だと考える。取締役会は企業の経営方針の決定を握っている中枢であるので、その考えることをできるだけ遮ることのないようにするべきだと考えるからだ。ただもちろん、その上で問題となることが見られるのであれば、検討が必要である。





グラフ 1、2、3 はジャパンマテリアルの業績を示すいくつかの指標である。それぞれを確認すると、営業利益率や、当期純利益、一株当たり純資産などの数値で恒常的な上昇がみられる。また、配当性向の値は 26.6% と低いことも、高すぎることもなく、配当額も徐々に上がっている。企業運営は順調であり、財務状態に問題がないということだ。以上のことから、剰余金の処分については、特別な懸念点が見られないため、賛成を推奨する。

#### 第二号決議案について

全員について、再任を推奨する。理由はいくつかあるが、第一は業績が向上していることである。先述した通り、ジャパンマテリアルの営業利益や当期純利益はここ数年上昇し続けている。これは、この取締役会の方針が上手く機能していることを表す。また、全員が経験豊富であることも理由として挙げられる。各人が相当のキャリアを積んでいるため、信頼を置いて問題はないといえる。他には、女性比率と、社外人の比率においても ISS などによる、ノルマ基準をクリアしていることも理由として挙げられる。これらを考えると、反対する理由はなく、今後の発展も期待できるため、全員を再任することを推奨する。